

天皇誕生日レセプションにおける茶道デモンストレーション開催

2013年12月5日（木）午後7時より、高瀬大使夫妻主催で開催した公邸での天皇誕生日レセプションにおいて、国際交流基金派遣のメキシコ裏千家の専門家を迎え、呈茶（茶道のデモンストレーションとお茶を振る舞うセッション）が行われました。

決まりに従って差し出されるお茶を受けて、ジャマイカ人も厳かに飲んでおり、日本の文化への尊敬を払う姿がうかがえました。3回の呈茶終了後も、4回目もやってもらえないかという希望があったりと、招待者は初の茶道にも大変満足していた様子でした。また、本事業はグリーナー紙においても取り上げられました(<http://jamaica-gleaner.com/gleaner/20131215/out/out4.html>)。



（左）国際交流基金（メキシコ）所長（左）からお茶出しを習う館員および館員家族
（右）会場では多くの観客が茶道の美しい動作に見入っていました



（左）裏千家の日暮淑能（ひぐらしよしの）講師
（右）スエイツ教育大臣などの要人にもお茶を経験していただきました